

たまねぎ 3 きょうだい

しんたま たんじょう



「おーきくなあ〜れ
おーきくなあ〜れ」

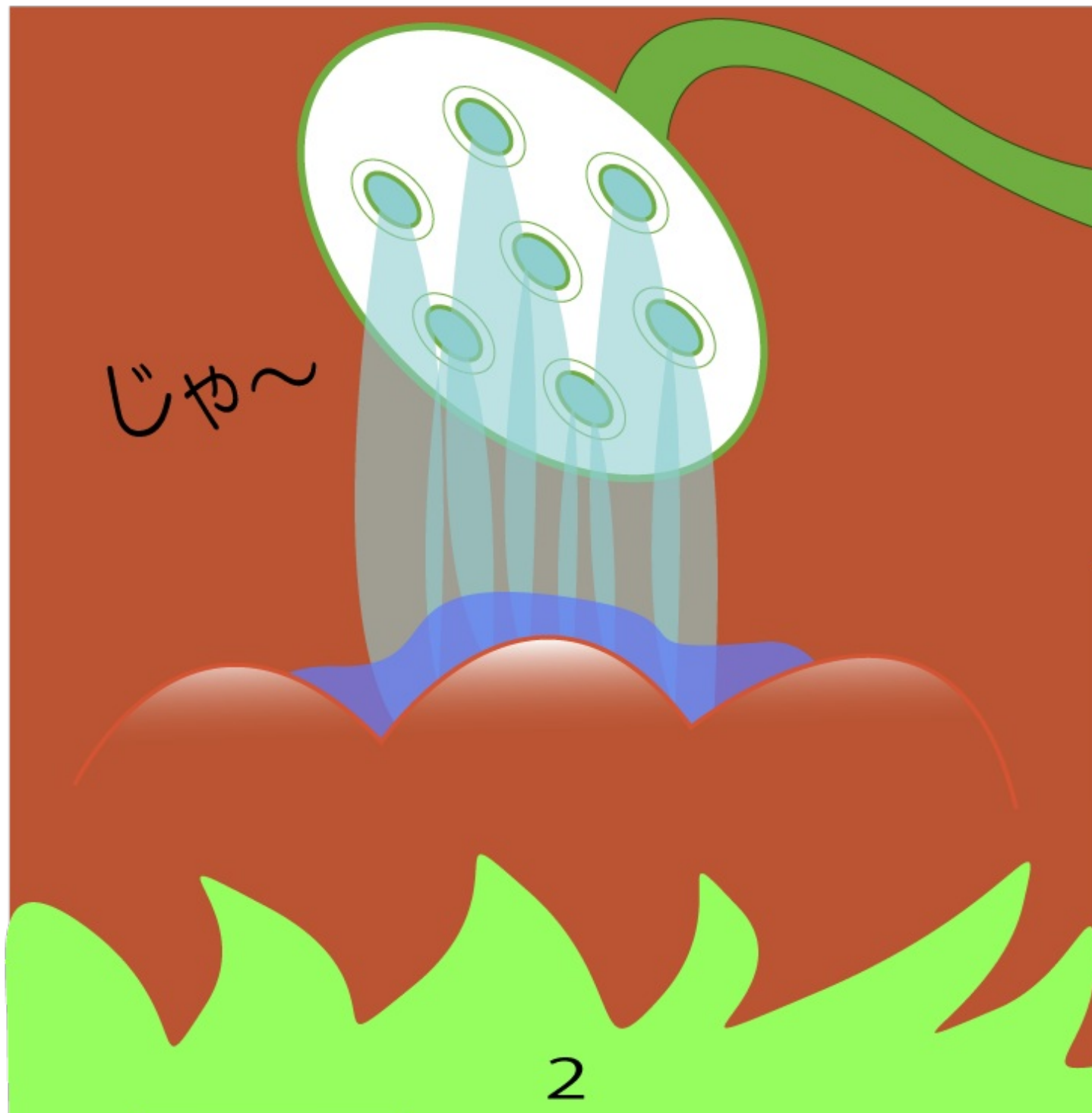


あるはれたひ、たまねぎきょうだいの おにいさん
“おーたまちゃん” が、はたけに おとうとのたね
(しんたま) をまきました。

そこへ ともだちのみみずの “みーすけ” が つちの
なかから、によりよと かおをだしました。



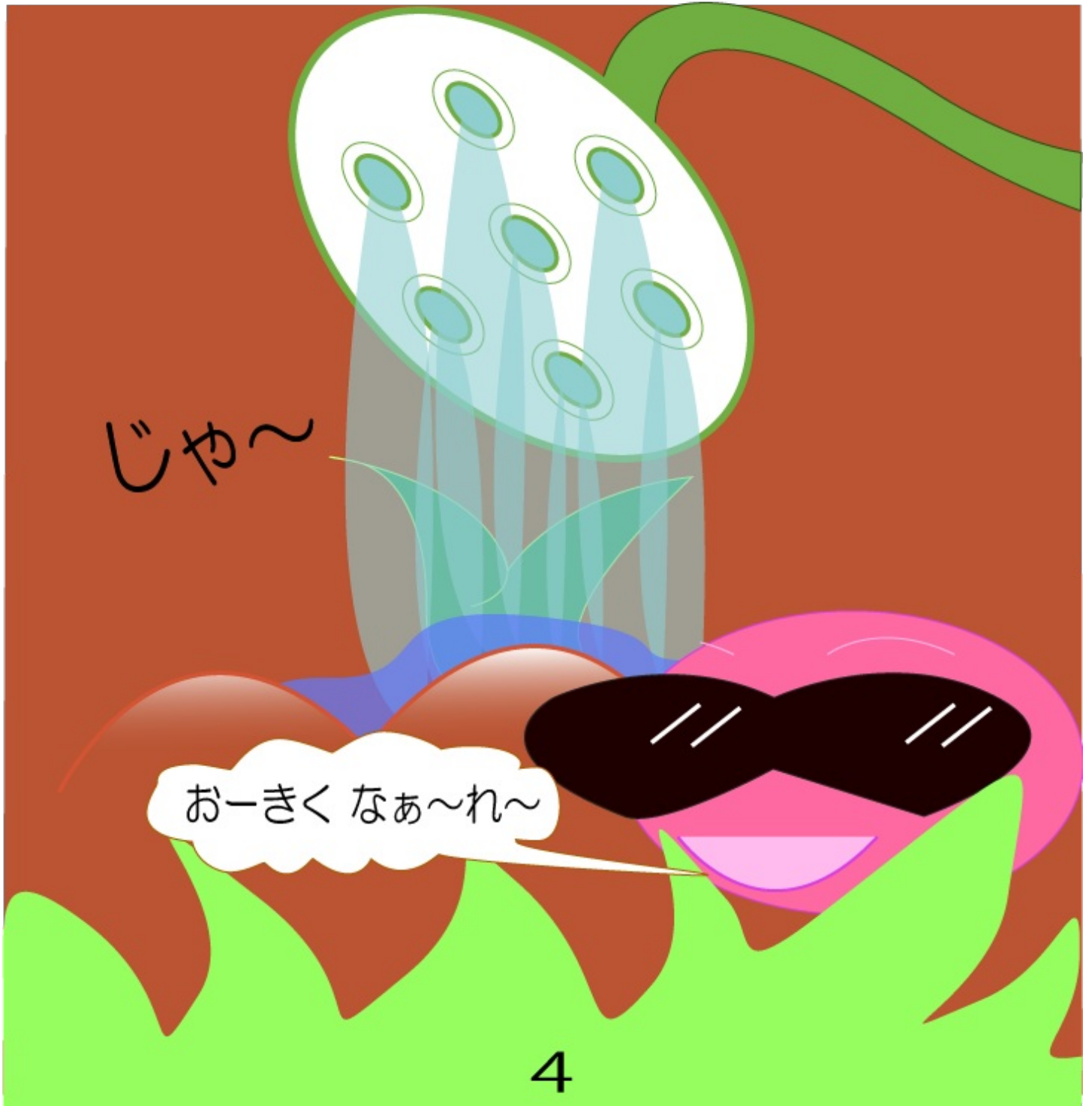
おーたまちゃんは、まいにち おみずを
あげました。



すうにちたって、によきっと！めがでてきました。
おーたまちゃんも、みーすけもよろこんでいます。
はたけのすみでは、ありのきょうだいが、
なにかをそだてようとしています。みんな“しんたま”
のたんじょうをたのしみにしています。



おーたまちゃんは、まいにち おみずを
かかさず あげました。



“しんたま”は、すくすくとそだっています。
あるひ おーたまちゃんは、ひこうきですうにち
でかけることになり・・・

みずやりを、いもうとのみーたまちゃんにたのみ
ました。みーたまちゃんはひとりでだいじょうぶ
かな・・・すこししんぱい。



みーすけはおーたまちゃんから「ぼくがない
あいだみーたまちゃんをたすけてあげてほしい」
といわれていたので、みーたまちゃんのみずやり
を、おてつだいしています。

う～ん！ みーすけってだいじょうぶなのう・・・



みんながみまもるなか“しんたま”はっばは、
ぐんぐん おおきくなっていきます。
ありさんたちが そだてているものにもへんかが
・・・はっばが でてきた???
いったい なにを そだてているのでしょうか。





おーたまちゃんの
かえりを まちながら
みーたまちゃんは、
まいにち おみずを
あげました。
ありのしまいが、
ようすを みにきま
した。「おおきく
そだったね。あれっ！
みーすけは・・・」



そのころ、
みーすけは！
ゆめのなかで
おてつだいを
していました。



つちのなか・・・

みーたまちゃんといっしょに・・・
むにやむにや むにやむにや

すうにたった あるひ、おおあめが ふってきました。

おーたまちゃんから「おみずをたくさん あげすぎないで！」

といわれていたので、こまってしまった みーたまちゃんは
なきだしてしました。

そんな みーたまちゃんに みーすけは「みーたまちゃん、なかないで！

これ つかって」とさしだしたのは・・・

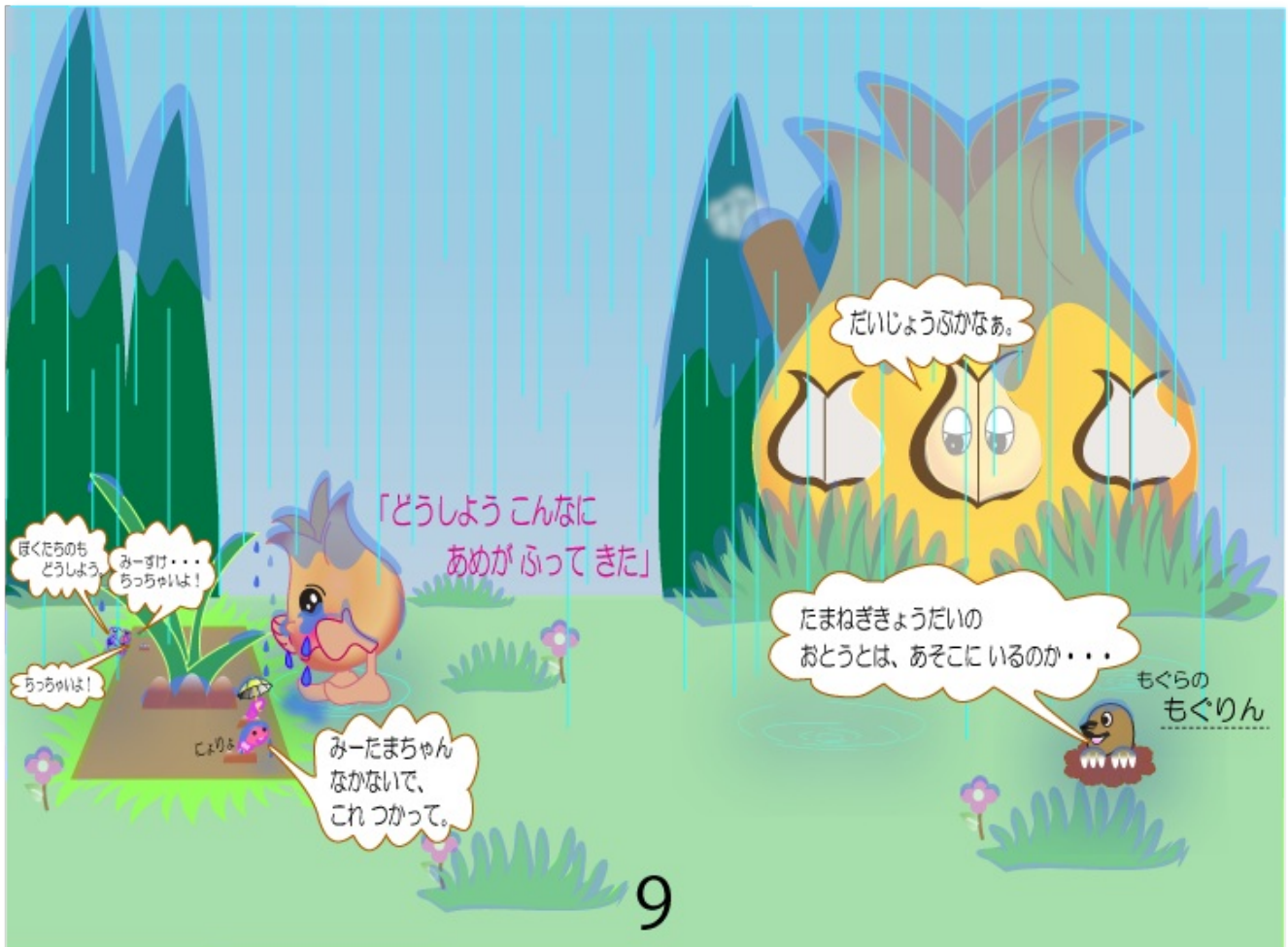
びっくりするほどに、ちいさいちいさい きいろいかさでした。

ありさんたちは「みーすけえ！ちっちゃいよ！」「ちっちゃいよ！」と
れんこします。

おうちのなかから しんぱいそうに だれかが のぞいています。

だれでしょう。

そして、きけんが せまっていることを だれも きづいていません。



みんなが こまっていると・・・

うしろから おおきいかさが さされました。

「みーたまちゃん、かぜをひいちゃうよ！」そのこえは
おーたまちゃんです。

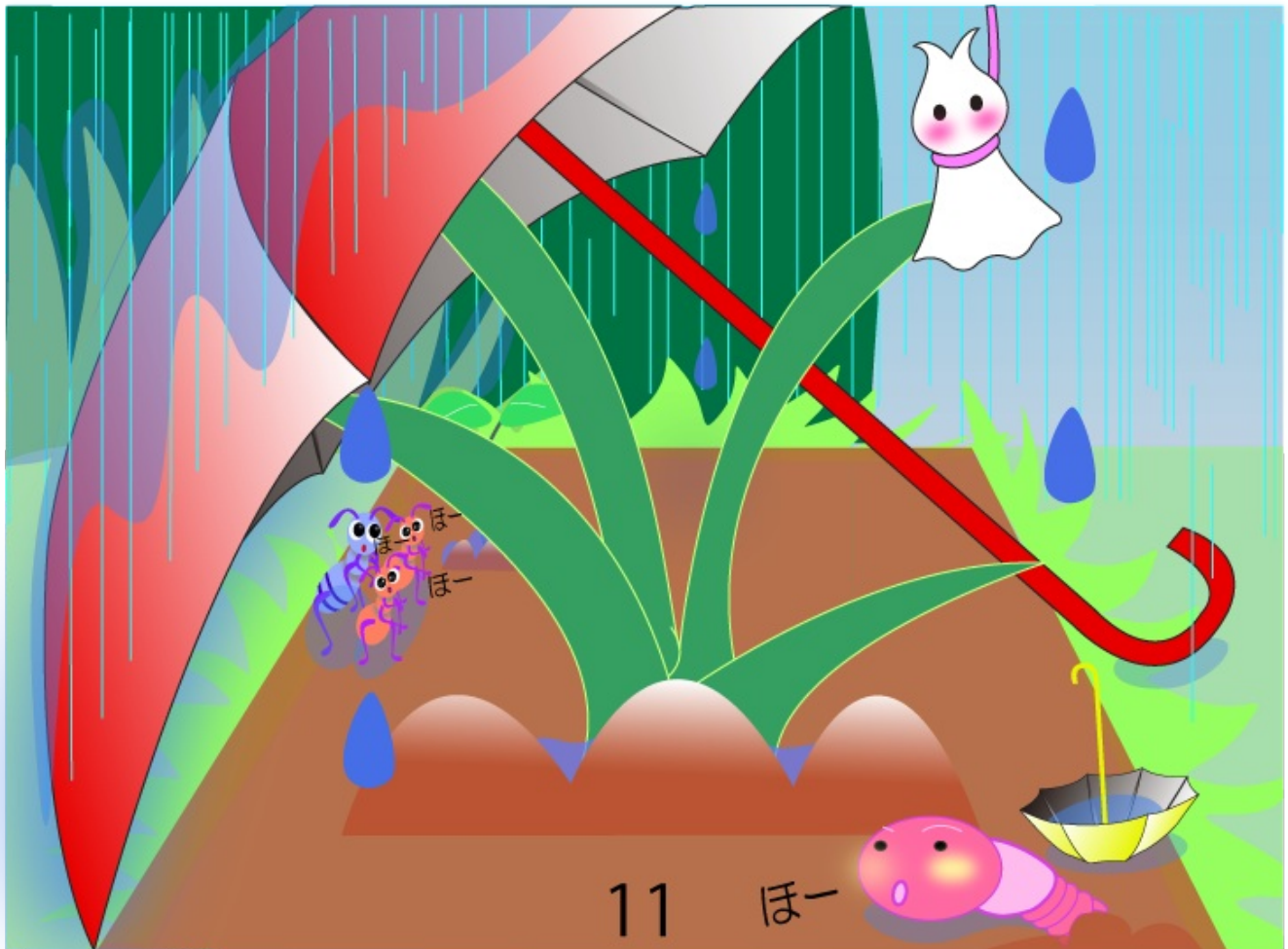
おうちのなかから しんぱいそうにみていたのは、
おーたまちゃんだったのです。

これで、ひとあんしん。

みーすけがないています。みーたまちゃんを たすけれ
なかったことを くやんでいるのでしょう。





おーたまちゃんのかさのおかげで、みーすけも
ありさんたちもあまやどりができました。
みーたまちゃんはかさ“てるてるぼうず”
をつけておうちのなかへは行っていきました。
「もうだいじょうぶ」なんて！ あんしんしてる
みーすけ・・・きけんがせまっているのよ。
しっかりして！



みーたまちゃんは、おうちのなかにも
“てるてるぼうず”をつるしました。

そして、ねがいながらうたいます。

「てるてるぼうず てるぼうず あ～した てんきに
しておくれえ～」

まどのそとには、みーすけもうたっています。

のんきにうたってるんじゃないよ！みーすけ！

きけんが せまっているのよ。



つぎのあさ、ねがいが かなった みーたまちゃんは
ありさんたちと よろこんでいました。

そのころ おーたまちゃんは おとうとの “しんたま” を
ねらう、もぐらのもぐりんと かくとうしていました。
が・・・あっさり、もぐりんに まけてしまいました。
それをみていた みーすけは 「“しんたま” は、ぼくが
まもる！ みーたまちゃんのために」と けっしん
するのです。

できるの・・・みーすけ！



たまねぎきょうだいのおとうと“しんたま”がたんじょうしようとしています。

みーたまちゃんは「うわあ〜」とおどろきがかくせません。

ありさんたちは“しんたま”たんじょうにあわせて

おはなをそだてていたようです。

そこへもぐらのもぐりんがにたあ！としながらこちらを

みています。

みーすけはもぐりんから“しんたま”を、まもれるので

しょうか・・・



“しんたま”のたんじょうをいわうぱーていが
はじまろうとしたそのときかべから！

もぐりんがでてきました。

みーすけがぴよんととびあがりもぐりんを
ぽこーんと！たたきました。

みーすけのかつやくでもぐりんから“しんたま”
をまもれ、ぶじにぱーていはひらかれました。

